

# 行田らしいまち並みづくりと にぎわい創出基本計画 (概要版)



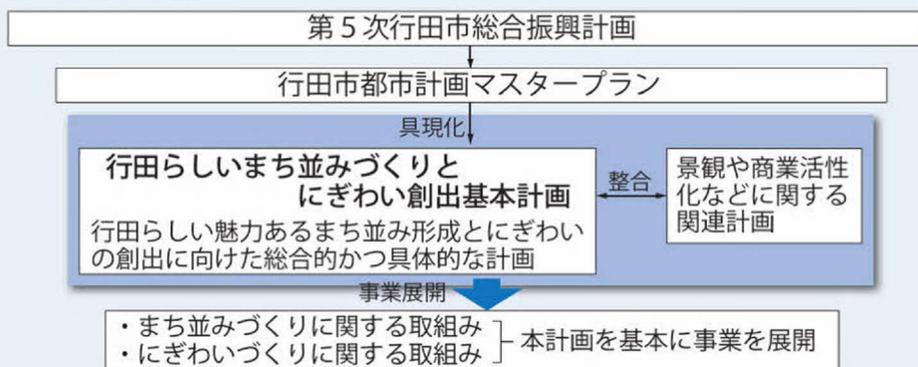
平成 26 年 3 月  
行田市



## 目的・位置づけ

行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画は、平成25年（2013年）4月からスタートした行田市都市計画マスタープランをまち並みや景観的な観点から具現化するとともに、個性的で豊かなまちづくりの実現に向け、まちづくりの主体者の顔が見える計画を策定し、行田らしい魅力あるまち並みの形成とにぎわいの創出を図ることを目的とします。

### ■計画の位置づけ



## 策定体制

### 景観まちづくりに関する市民アンケート調査

18歳以上の市民の中から、1,000人を対象に、アンケート調査を実施しました。

反映

### 検討委員会

(構成) ・学識経験者 ・各種団体から推薦された者  
・関係行政機関 ・公募市民

提案

### ワーキング委員会

(構成) ・企画政策課 ・都市計画課  
・商工観光課 ・文化財保護課

提案

行田らしいまち並みづくりとにぎわいづくりの検討  
市全域における行田らしいまち並みづくりとにぎわいづくりの方向性を検討

### モデル地区

モデル地区の具体的な施策・事業を検討

反映

### 関係団体ヒアリング調査

地域活動団体を対象に、景観まちづくりの協働・連携のあり方や今後の活動の方向性などについて意見交換しました。

### 景観まちづくりワークショップ【4回実施】

景観形成やにぎわい創出について考えるために、秩父鉄道行田市駅周辺を対象としてワークショップを実施しました。



反映

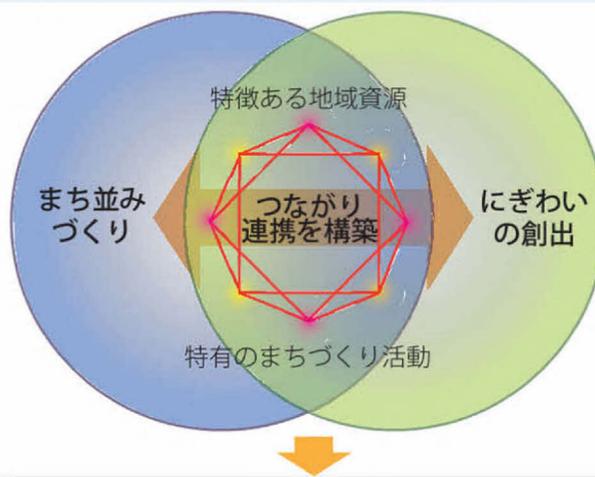
## “行田らしさ”を活かしたまちづくりの方向性

### “行田らしい”風土・気風を活かし、にぎわいにつなげるまちづくり

本市は、豊かな自然資源に恵まれ、また、埼玉県名発祥の地であるとともに北関東の中心の城下町として栄え、現在も埼玉古墳群や忍城址を代表とした歴史・文化資源など地域資源が数多く存在しています。

このような多様な“行田らしさ”を活かし、まち並みづくりとにぎわいの創出を図るため、水と緑、歴史と文化などの資源を保全・継承・活用し、豊かな生活と調したまちづくりを、市民などとの連携・協働により取り組みます。

### ■“行田らしさ”を活かしたまちづくりのイメージ



“行田らしさ”を活かしたまちづくりの実現

### ■“行田らしさ”とは...?

- ▶ 広々とした平坦な地形が特徴であり、生活の営みや歴史・文化の発展の基盤である【地形“らしさ”】
- ▶ 自然資源に恵まれ、生活も歴史も「水」と共生してきている【自然“らしさ”】
- ▶ 古代から現代まで連綿と続く歴史が重層している【歴史“らしさ”】
- ▶ 北関東の中心として栄えた文化があり、埼玉県名発祥の地である【文化“らしさ”】
- ▶ 先人が培ってきた文化の継承が、市民の誇りにつながっている【気風“らしさ”】

“行田らしい”  
風土・気風



## 行田らしいまちづくりの推進の考え方

本計画では、地形、自然、歴史、文化、気風から“行田らしさ”を定義し、この“行田らしさ”を活かしたまちづくりに向けて、本市を代表する地域資源を核としたまち並みづくりとにぎわい創出のための取組みを市民と連携・協働して進めていきます。

そのためには、“行田らしさ”を象徴する地区において、まち並みやにぎわいに関するまちづくりに重点的に取り組み、それにより生み出されるまちづくりの活発な動きを、点から線、線から面へ広げ、市域全体のまち並みづくりやにぎわいの創出につなげていきます。

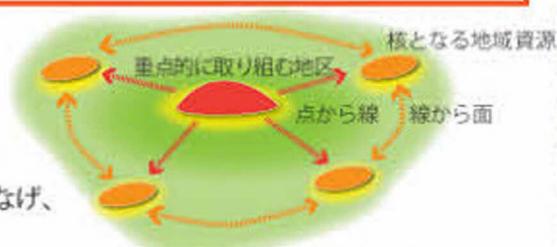
### ■行田らしいまちづくりの推進の流れ

推進方策

『“行田らしさ”を活かしたまちづくり』の実現のために…

地域資源を核としたまちづくりを市民と連携・協働して進める

まちづくりの活発な動きを  
点から線、線から面へとつなげ、  
市域全体に広げていく



## モデル地区の選定・方針

“行田らしさ”が集積しているとともに、市民活動が盛んに行われており、また、市役所などの公共施設や秩父鉄道行田市駅などの暮らしや観光における拠点施設に近接していることから、秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリアを、本計画のモデル地区として選定します。(右図参照)

### 方針1：人が主体となり地域を育てるまちづくり

地域で進めるまちづくりにおいては、まちの“顔”をつくり、育て、発展させるため、人が主体のまちづくりを推進します。



### 方針2：歴史と文化の薫りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

点在する様々な時代に建てられた歴史的建築物を保存・活用し、まとまりとつながりのある界わいやまちかどの空間を形成することにより、地域の方々や来訪者が歴史的・文化的な雰囲気を感じながら、歩いて楽しめるまち並みを形成します。



### 方針3：水と緑がうるおいをもたらず四季を感じるまち並みづくり

街路樹などの豊かな緑を身近に感じられるまち並みの形成を図るとともに、ゆとりと安らぎの感じられる開放的な水辺空間の創出により、豊かな水と緑がうるおい、一年を通して四季の移ろいが楽しめるまち並みを形成します。



### 方針4：暮らしと交流が調和したにぎわいづくり

生活利便性の向上を進め、暮らしに関わる機能の充実と魅力ある商業空間の形成を図り、また、「住みたい」「訪れたい」と思えるようなおもてなしの取組みを市民と行政が連携して推進し、市民と来訪者の交流につなげます。

更に、“暮らし”と“交流”をつなげることで、市民と来訪者の双方が満足できるにぎわいの創出を図ります。



## 施策展開の方針

### ■軸の方針

周辺エリアや地域資源との連携を図る「軸」は、資源間の連携を強化することによりにぎわいの創出を図り、誰もが親しみやすく回遊しやすい空間の形成を図ります。

#### ① にぎわいや歴史・文化が感じられるまち並み軸

##### 本町通り周辺のまち並み軸

【現状】



【整備イメージ】



##### 秩父鉄道行田市駅から 新町通り周辺のまち並み軸

【現状】



【整備イメージ】



#### ② 水辺のまち並み保全・形成軸

##### 忍川周辺の水辺空間軸

【現状】



【整備イメージ】



#### ③ 公共施設集積地区と歴史的・文化的資源をつなぐ軸

##### 公共施設集積地区周辺の都市機能集積軸

【現状】



【整備イメージ】



### ■界わい・まちかどの方針

特徴的な「界わい・まちかど」は、周辺環境との調和に配慮し、地域資源や町割りなどを活かしたまち並みの形成を図ります。

##### 八幡通り周辺の界わい・まちかど

【現状】



【整備イメージ】



##### 新店通り周辺の界わい・まちかど

【現状】



【整備イメージ】



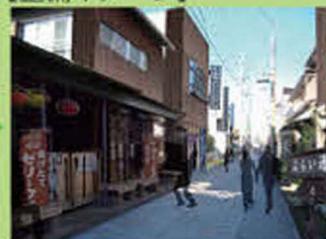
##### 北谷通りと蓮華寺通り周辺の界わい・まちかど

###### 〈北谷通り〉

【現状】



【整備イメージ】



###### 〈蓮華寺通り〉

【現状】



【整備イメージ】



注) 上記の整備イメージ図は参考例です。実施にあたっては市民の合意形成を図り進めるものとします。

# 秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集



景観のルールづくりなど、住民と行政が一体となり良好なまち並みを形成します。



空き店舗を活用して、体験交流できるまちづくりを進めます。

空き地を活用して、市民活動の場、にぎわい空間を創出します。



循環バスターミナルと一体的に、観光案内所やレンタサイクルなどの観光交流拠点を整備します。



忍川周辺の水辺空間軸



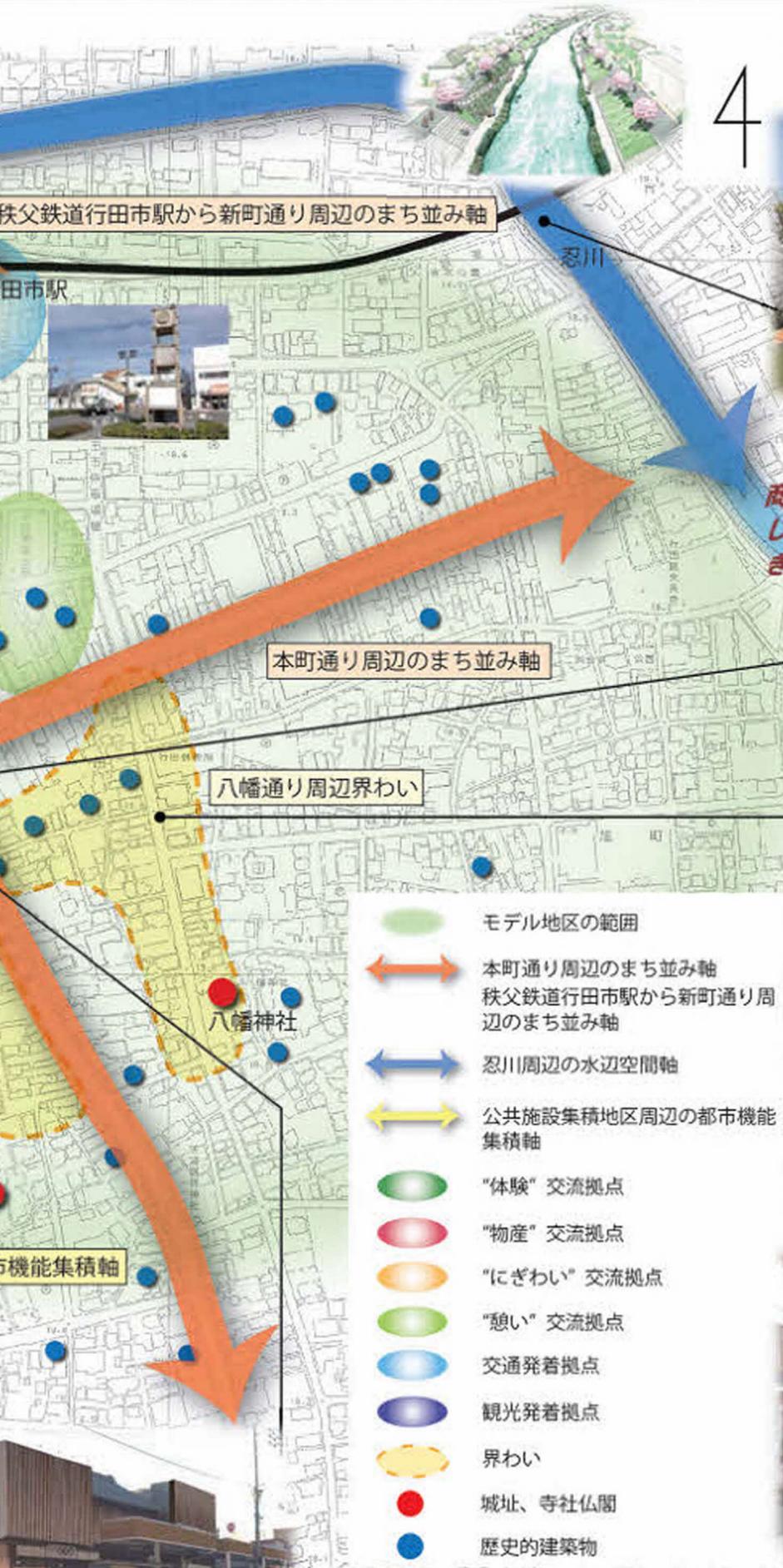
商店街の修景や緑化活動により、にぎわいとまち並みを形成します。

注) 上記の整備イメージ図は参考例です。実施にあたっては市民の合意形成を図り進めるものとします。また、県が主体となり取り組む内容については、施設管理者と十分調整を図り進めるものとします。

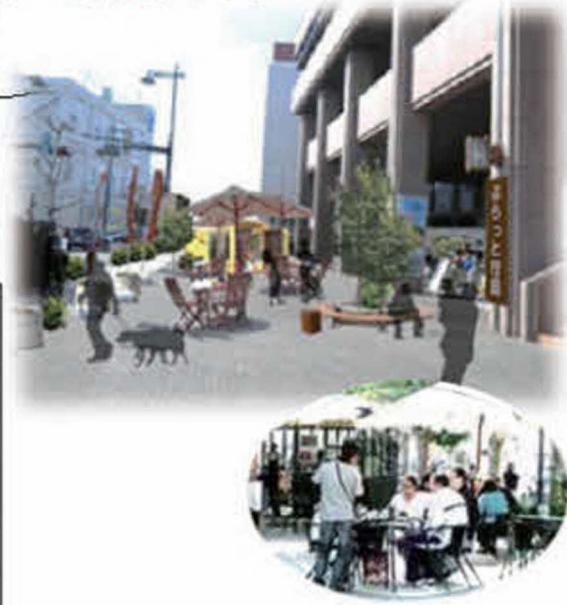
# 積するエリア（モデル地区）の将来イメージ

遊歩道の整備や清掃・緑化活動により、水辺を身近に感じ、楽しめる場を創出します。

4



商工センター前のスペースを活用して、オープンカフェなどによるにぎわいを創出します。



コミュニティ道路などの整備により、歩きやすいまち並みを形成します。



